

# 7月19日(土)絵具遊びで五感を刺激 親子で学ぶ知育イベント開催

アスト株式会社

🕒 2025.07.09 15:00



ライフスタイル

## 幼児期の脳への刺激や感性を育てる知育遊びの重要性を伝えたい

家庭紙卸商社アスト株式会社（大阪市中央区博労町）が取り組む社会貢献活動「家庭紙から生まれる支援の輪プロジェクト」は親子で学び楽しむ、こども支援イベント「てんとう虫となかまたち」を年5回1～3歳の親子を対象に無料開催しています。そして、この度7月に知育イベントとして全身を使い絵具遊びを行う“無制限あそび”を開催することになりました。

### ■ こどもたちが自由に遊べる機会の減少

現在、こどもたちが安心して遊べる遊具のある公園が減少傾向にあり、こどもたちの外遊びも減り、全身を使ってのびのびと遊ぶ機会が減少しています。公園によってはボール遊び禁止など、行動を制限するルールも増え、子育てをする親世代のこどもの頃に比べ、自由に遊べる機会が減っている現状があります。



絵具に触れ、感触を楽しむこどもの様子

### ■ 親子で楽しみながらこども支援について学ぶ無料イベントを開催

そんな中、こどもたちが安心して遊び、成長にも繋がる機会を提供したいと考え、「てんとう虫となかまたち」イベント〈知育の会〉として“無制限あそび”を取り入れることに決めました。無制限あそびは絵具の色で視覚を刺激し、寒天など様々な素材に触れる感触で脳を刺激します。自宅では汚れや後片付けを気にして大胆に遊ばせることが難しい場合も多いですが、イベントとして参加することで、こどもたちが制限なく自分の思う通りに実践することが可能です。遊びを通じて、こどもたち一人ひとりの感性を育て、表現の幅を広げることによって繋がってほしいと願っています。また毎イベントでは、始めに親御様へ向けて15分間の講話時間を設け、こども支援やこども食堂などについて知っていただく機会を提供しています。

【日時】2025年7月19日(土)10:30～12:00

【場所】大阪市福島区吉野3-17-23福島区民センター 3階301

【タイムスケジュール】

10:15 受付開始

10:30 イベント開始・こども支援に関する講話

10:45 着替え

10:55 無制限あそび開始

11:55 集合写真撮影

12:00 解散



無制限あそび”に参加されている親子の様子



絵具に触れ、感触を楽しむこどもの様子

### ■ 「家庭紙から生まれる支援の輪プロジェクト」が、こども支援イベントを開催する理由

当社の家庭紙購買層の8割は女性であることから、通年で女性支援に取り組んでいました。その中で、子供たちを支援する取り組みとして「こども食堂」が食事を提供するだけでなく、地域とのかかわりや、学びの提供の場であることを知りました。支援する環境があることを広く知ってもらえる機会になればと、こども支援の取り組みを開始したのがきっかけです。アストは企業として、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえに、てんとう虫ソフトバックティッシュの売上より、イベント開催ごとに寄付をしています（イベント参加者に寄付を求めるものではありません）。しかし、単に企業が寄付をするだけではなく、こども食堂のことを正しく知ってもらうこと、ひとり一人ができる支援について考えてもらうことが大切だと考え、このイベントを無料開催しています。

世間のこども支援やこども食堂に対するイメージは“貧困のこども”という印象が強く、正しく認識している人が少ないと感じています。世の中に偏見がなく、こども食堂を必要としている人が誰でも利用できるように、参加者には正しい認識をもってもらい、こども支援について知っていただける内容を学びの時間に含め企画しました。

私たちは「てんとう虫となかまたち」の活動を通して、こどもたちの成長サポートはもちろん、親御様に現状やこども支援について知っていただくことで、こどもたちの未来を少しでも明るくすることができればと願っています。また支援の輪をもっと広げていくことで、この活動の目的である「誰ひとり取り残されない未来」に繋がられるよう、これからも取り組んでまいります。

### ■ 2025年度は「こども食堂」のお困り事について、一緒に解決策を考える取り組みも同時にスタート

こども食堂の運営者やボランティアの方々と接する中で、こども食堂が抱える資金面以外の問題、課題があることに気づきました。こども食堂は貧困家庭の子供だけが利用するところという偏見や、食事を提供するだけで本来のこども食堂の役割を果たせていないのではないかと運営者の悩みがあることなどです。運営者の目指すこども食堂はこどもだけでなく老若男女様々な人が集まり交流する場所であり、こどもたちにとって学びがあり、先生や親以外の相談できる大人がいる場所など、単に食事を提供するだけではなく様々な役割をもつ場所です。そのために弊社が企業として何ができるのか、悩みや課題をどう解決していくのか、一緒に考え伴走していきたいと思っています。



関目こどもカレー食堂（大阪市城東区）でお母さんと一緒にこども食堂を利用する姉弟

↓アストCSR活動公式Instagram



↓アスト公式HP

